

## 医療法人おひさま会の患者さまへ

当法人では、患者さんの試料・情報を用いた下記の医学研究を、当法人の承認ならびに理事長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しております。

本研究への協力を希望されない患者さんは、その旨を下記の問い合わせに示しました連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。なお、本研究への協力を希望されない場合でも不利益を受けることはありません。

研究課題名（研究番号）	地域医療の効率化を目指した人工知能による往診要請予測モデルの開発（No.002）
研究実施機関	医療法人おひさま会 おひさまクリニック・おひさまクリニック西宮・おひさま在宅クリニック
当院の研究責任者（所属）	山口高秀（理事長）
他の研究機関および各施設の研究責任者	兵庫県立丹波医療センター・丹波市ミルネ診療所、公立村岡病院
研究の実施期間	2023年5月24日（倫理審査委員会承認日）～2025年3月31日 （兵庫県立丹波医療センター；丹医第1131号）
研究の目的・意義	終末期の療養場所に対する国民の関心は高く、その多くは自宅で死亡することを希望している。しかし実際の死亡場所としては病院が大多数を占めているのが現状である。一方で、地域医療を支える医師不足が社会的な問題となっている。高齢化が進む本邦では今後も在宅医療のニーズが高まると考えられるが、医療者の負担増大に対する方策は未だ立っていない。特に24時間体制で往診に対応する医師の負担は大きいため、患者からの往診要請を予測することが可能となれば、医師の負担は軽減し、医療資源を適正に配置することができる。
研究の対象・方法	対象：上述の医療施設にて訪問診療を行っているもしくは訪問診療を実施していた患者 方法：多施設後ろ向き観察研究 ① 患者の生物学的特徴 （年齢/性別/診断名/処方薬剤数/手術・医療的処置の有無等） ② 患者並びに家族の心理・社会的要素 （家族構成/介護者の年齢・性別・患者との関係・就労状況/訪問看護の利用の有無/後方支援病院の有無等） ③ 訪問診療導入日から往診要請までの日数
試料・情報の他の研究機関への提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い（個人情報の項目）	本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人を識別できる情報（住所、氏名、生年月日）をすべて削除し、研究番号を振り分け、どなたのものかわからない匿名化データとして使用します。
お問い合わせ先	医療法人おひさま会 岡本敬久（電話：078-708-2522）
備考（利益相反など）	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。